

3 ウイルス検定

(1) イネ縞葉枯病ウイルス

ア 目 的

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒の実態を明らかにし、今後の防除対策に資する。

イ 採集及び検定方法

(ア) 供試虫の採集

越冬世代：2008年（平成20年）3月6～21日

第1世代：2008年（平成20年）5月10～23日

(イ) 検定方法

ラテックス凝集反応法により、越冬世代は3月26日～31日、第1世代は5月31日に検定を行った。

ウ 結果の概要

第1表 越冬世代の各地点における保毒率

採 集 地 点	検定虫数	保毒虫数	保毒虫率
諫早市小船越	100	5	5.0
諫早市小野	200	0	0.0
諫早市森山	100	4	4.0
大村市鈴田	150	4	2.7
東彼杵町三根	100	2	2.0
国見町神代	98	6	6.1
吾妻町干拓	121	3	2.5
多良見町元釜	100	7	7.0
琴海町戸根	200	9	4.5
大瀬戸町多以良	190	9	4.7
大瀬戸町雪の浦	53	5	9.4
外海町神の浦	100	6	6.0
佐世保市長畑	200	3	1.5
佐世保市早岐	100	2	2.0
松浦市志佐	58	2	3.4
平戸市紐差	149	13	8.7
合 計（平 均）	2,019	80	4.0

第2表 過去の越冬世代の保毒率の推移

調査年度	H15	H16	H17	H18	H19	平年
保毒率（％）	2.4	2.1	3.8	2.8	5.1	2.3

注）平年値は平成10～19年の平均（最大・最小値を除く）

第3表 第1世代の各地点における保毒率

採集地点	検定虫数	保毒虫数	保毒虫率
長崎市琴海戸根	100	0	0.0
長崎市外海神浦	97	2	2.1
多良見町元釜	200	4	2.0
諫早市小野	150	0	0
諫早市森山町	200	3	1.5
諫早市小船越	150	0	0.0
大村市鈴田	200	3	2
東彼杵町三根	64	1	1.6
波佐見町	200	1	0.5
国見町神代	149	1	0.7
佐世保市長畑	165	2	1.2
松浦市志佐	59	0	0.0
合計(平均)	1734	17	1.0

第4表 過去の第1世代の保毒率の推移

調査年度	H15	H16	H17	H18	H19	平年
保毒率(%)	0.9	2.0	3.9	1.8	2.2	1.5

注) 平年値は平成10～19年の平均(最大・最小値を除く)

(2) イネ萎縮病ウイルス

ア 目的

ツマグロヨコバイのイネ萎縮病ウイルス保毒の実態を明らかにし、今後の防除対策に資する。

イ 採集及び検定方法

(ア) 供試虫の採集

2008年(平成20年)5月21、23日

(イ) 検定方法

ラテックス凝集反応法により6月5日に検定を行った。

ウ 結果の概要

ツマグロヨコバイの第1世代のウイルス保毒率は平年並であった（第5、6表）。

第5表 各地点における保毒率

採集場所	検定虫数（頭）	保毒虫数（頭）	保毒率（％）
諫早市尾船越	46	0	0
諫早市小野	119	0	0
諫早市森山	76	0	0
雲仙市吾妻町	48	0	0
合計（平均）	289	0	0

第6表 過去の第1世代の保毒率の推移

調査年度	H15	H16	H17	H18	H19	平年
保毒率（％）	0.2	0	0	0	0	0.2

注）平年値は平成9～18年の平均（最大・最小値を除く）